



5月14日(火)

## 迷える人を救う

聖書朗読 ルカの福音書15:1~10

見つけたら、大喜びでその羊をかついで、帰って来て、友だちや近所の人たちを呼び集め、『いなくなった羊を見つけましたから、いっしょに喜んでください』と言うでしょう。 ルカ 15:5~6

パリサイ人たちは群衆を見てぼやきました。救いの手をのべる価値もない迷える人たちだったからです。イエス様は群衆を見て、神様がその人々に手を差し伸べて迷わないようにしてくれるという希望を与えました。彼らはそれをしっかりと受け止めて、自分の周りの迷っている人たちを探し始めました。そして、彼らの家々で集まり、一緒にパンを裂き、お互いに希望を与え合い高め合いました。

あなたはどちらですか。何もせずに、ぼやき不平を言う者ですか。それとも迷える人を探しに行く、神様に従う者ですか。迷える人たちのところに行かないで、迷える人たちを助けることはできません。食料や衣服を無料で与える場所でボランティア活動をしてください。教会に“溶け込めない”人たちに働きかけてください。パリサイ人は、迷える人たちが自分達のところに来て、自分たちの律法を守るのを待っていました。それは良い作戦ではありません。

イエス様の弟子たちは、イエス様の信仰を一つの目的のために行いました。弟子たちは、それが信仰と希望になると理解していました。それは律法を守るよりもはるかに大事なことでした。彼らはイエス様が与えてくださった恵みと憐れみを受け取ったのです。

行う者になってください。奉仕する場所を見つけてください。機会を探してください。是非そうしてください。罪人を探し、手を伸べる人になってください。誰かと分かち合ってください。互いを敬ってください。主にある希望を周りの方々に分かち合って下さい。福音を宣べ伝えて下さい。

讃美歌 II 183

祈り 主よ。迷える人たちを探し、彼らに望みを与えることができますように。あなたが深く気にかけておられる迷える人たちに対して、すばらしい福音を魅力的に伝えることができますように。イエス様のお名前により。アーメン。

テキサス州 ミルサップ / エリン E・マッケンドリー

5月15日(水)

## 物事がうまく行かない時

聖書朗読 ルカの福音書15:11~20

自分の心にたよる者は愚かな者、知恵をもって歩む者は救われる。

箴言 28:26

放蕩息子は自分を欺くことを止め、我に返りました。めでたい日となりました。彼はこう言いました。「父のところには、パンのあり余っている雇い人が大ぜいいるのではないか。それなのに、私はここで、飢え死にしようだ。」

息子は大きな一歩を踏み出しました。彼はあらゆる欲望の結末に気が付きました。人生で最も難しいことの一つは、神様と自分自身に正直になることです。自分自身のためにだけ生き、思いつきだけで生きていると身を滅ぼします。

この物語の要点は、自己中心的選択は幸福につながらないということです。彼の飢えと取り巻く環境がこのことを思い出させてくれました。彼は下り坂の人生を続けなくてもよいのだと気がついたのです。彼が自分の家に戻ろうと決心した時に彼の自己中心的な人生は幕を閉じました。

私たちは誰でも変わることができます。私たちは誰でも赦されるのです。自分の非を認める謙遜さを持ち、神様に立ち返る意志を持たなければなりません。神様はいつでも両手を広げて、私たちが帰った時に抱きしめようと待っていて下さいます。

讃美歌 239

祈り 天の父よ。いつでも神様をはっきりと見ることができますように。何をしても、あなたから離れていくのではなく、あなたに向かっていつも歩んでいけますように。イエス様のお名前によってお願いいたします。アーメン。

テキサス州 ハイランド・ビレッジ

ラリー・ケイン

5月16日(木)

## 感謝することの大切さ

聖書朗読 ルカの福音書17:11~19

私は神の御名を歌をもってほめたたえ、神を感謝をもってあがめます。

詩篇 69:30

あなたは感謝の気持ちをうまく伝えていますか。感謝していても、その思いを十分に表現できない時があります。

私たちは言葉や行動で感謝を示します。ツアラアトを癒されたこの人は真の感謝を示しました。イエス様の足もとにひれ伏して感謝しました。同じく癒された他の9人は振り返ることもなく立ち去って行きました。私たちもふさわしい祝福の言葉や文字で感謝の気持ちを伝える人になろうではありませんか。

真実の感謝を示すことは誠実な反応です。神様は惜しみなく私たちに祝福して下さいました。ですから、私たちも惜しみなく他の人々を祝福することができます。食べ物があれば、餓えた人々に届けましょう。健康であるなら、体の弱い人が健康になる手助けをしましょう。希望を持っているなら、絶望している人たちを励ましましょう。私たちは神様からいただいているあらゆる祝福に対して、言葉と行動で、神様に心からの感謝をお返ししたいものです。神様の言葉に従いましょう。神様の教会にあって誠実でいましょう。神様に私たちの感謝を表しましょう。

讚美歌 524

祈り 主よ。感謝致します。あなたがお造りになり、私たちのために与えてくださった全てのものを感謝し、あなたをあがめます。あなたの全き恵みを認め、へりくだり、あなたの寛大さに驚き感謝します。私たちが持っている希望を他の人と分かち合うことができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル  
ロバート L・ガーデンハイアー

5月17日(金)

## 救いの希望

聖書朗読 ルカの福音書19:1~10

人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。 ルカ 19:10

破壊的なハリケーンの直後に、そこにボランティアに行った人の話を聞いたことがあります。住民を乗せてコミュニティ・センターに設けられた避難所へ往復している最中に、ハリケーンで飛ばされ、びしょ濡れになった一本の人工樹のクリスマスツリーを拾い上げました。ピストン輸送していて、彼は、大きな瓦礫の山に埋もれた、そのクリスマスツリーを3度、通り過ぎたそうです。そのうちそれを拾い上げた方がいいような気がしてきて、拾い上げて近くの空地に立てました。たまたまそうしたのだそうです。

その後どういうことになったと思いますか。2週間ほどで、そのクリスマスツリーは大勢のハリケーン被害者らが集まる場所になったのです。彼らは、手作りのオーナメントやライトや、希望のメッセージで、ツリーを飾りました。このたまたま何となく救出したツリーは、励ましとインスピレーションの美しい象徴となりました。

私たちは皆、救いが必要です。私たちは皆、希望が必要です。道に迷っている人のそばを通り過ぎたことがありますか。希望と良い知らせを誰かに伝える機会があったとしたら、その機会を逃さないでください。キリストが救って下さいます。そして、キリストの愛は私たちを美しさと義で飾って下さいます。なんと素晴らしい物語でしょう。

讚美歌 516

祈り 親愛なる主よ。私たちに救うために恵みをもって立ち止まってくださり、あなたのひとり子にあって義の衣を着せてくださりありがとうございます。同じ希望を他の人たちにお伝えできますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 バエホ  
マーク R・ガイ

5月18日(土)

## 異なる世界

聖書朗読 ヨハネの福音書 7:6~13

私たちの主イエス・キリストの父なる神、慈愛の父、すべての慰めの神がほめた  
たえられますように。  
コリントⅡ 1:3

イエス様は祭りの時、主の兄弟たちと一緒にガリラヤからエルサレムまでの行列に加わることはしませんでした。イエス様は彼らが出発してから一人で、いわば内密に上って行かれました。それは、神様のご意志とタイミングに従う謙遜な行動でした。イエス様から、神様のみこころを求めると、神様にお願いした後の忍耐を学ぶことができます。

イエス様は完璧に父なる神様のご意志に従いました。神様のタイミングは大変重要でした。イエス様の弟子たちは恐れていたため、神様のご意志に従うことをしませんでした。弟子たちはイエス様に自分たちの思い描くメシアになって欲しいと思い、すぐに、自分たちが望む時にそれが叶うようにと願っていました。

この世には悪が存在しますが、その悪がそのまま存在する世界で私たちは終りではありません。平和と霊的な休息がある、この世とは異なる“新しい”世界を神様は用意してくださっています。その新しい我が家で、私たちはイエス様と父なる神様と聖霊なる神様とともにいられるのです。

讃美歌 488

祈り 親愛なる父よ。この世でせかせかと生きていますが、神様のみこころを求めさせて下さい。あなたを信ずる者のために、あなたがより良い世界、天国の家を用意してくださっていることを互いに思い起こすことができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 キングストン  
Wスコット・ウッドリー

5月19日(日)

## 灯台になりなさい

聖書朗読 ヨハネの福音書 8:12~30

イエスはまた彼らに語って言われた。「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」

ヨハネ 8:12

私たちは何年間かオレゴン州とワシントン州の州立公園でキャンプの主催者として働きました。有難いことに、歴史的に有名な灯台がいくつもある場所です。それぞれの灯台にまつわる深い話を気に入っていました。北西の海岸線沿いには数多くの見張り台が残されています。それらは、かつて海に関わる人たちの役に立っていた大切なものであることを思い出させてくれます。起伏の激しい海岸は、危険をはらむ、命取りになりかねない岩層や砂州でできています。何百艘もの船が、船に一番近い灯台の光によって危険な状態から安全な港へ航行できるのだということを深く認識せず、遭難してしまったことがよく合ったそうです。

同じように、イエス様はご自分が光であると言われました。私たちには選択の自由がありますが、時には私たちの決定によって危険水域に行ってしまうこともあります。しかし、私たちには主の約束があります。イエス様に従うなら、私たちは決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つという約束です。

壮大な灯台を見ると、船乗りたちにとって光がいかに重要であるかを考えさせられます。光を見るという希望がなければ、船長たちは起伏の多い岩だらけの海岸に船もろとも希望を打ち碎かれることでしょう。いつもイエス様に目を留め、世の光となって、この世に対して証しし続けて下さい。

讃美歌 501

祈り 恵み深い神様。キリスト様の光に従い、暗い世の中に対して光になれますように助けて下さい。イエス様の恵みによって。アーメン。

サウスカロライナ州 コロンビア  
マーク & ブレング・ヤング